

一 閣議ヲ召集シテ自衛ノ手頭ヲ謝スルヲ強ク大義ヲ示シテ以テ返答ハ準備
賈森ノ帰朝ノ大閣議イナツテ返答ノ期日無クハ準備スルハ以テ以テ
賈森ノ歸朝ニ奉ヘシ

本平選應業ノ出舞員ハ福幸イ徳澤同一でテ以テ無遠一韻ノ獲代

三十一 西 風 木末 颯

一 藤井 野 廣 彦 彦 彦

三十一 吉小川

末 末 二 瀬 瀨

藤 藤 委員

吉小川

末 末 二 瀬 瀨

吉 齋 昭 遠

吉小川

末 末 二 瀬 瀨

藤 齋 出 陣 輝 輝

木土 掛

豐 勢 哉

藤 齋 出 陣 輝 輝

大 崎 中 島 財 政 審 査 一

藤 齋 出 陣 輝 輝

中 島 島 財 政 審 査 一

藤 齋 出 陣 輝 輝

林 西 島 廣 吉

藤 齋 出 陣 輝 輝

田 西 口 景 末 一 勇

常 藤 齋 出 陣 輝 輝

林 西 土 景 末 一 勇

財團法人協同會大阪支所

品ガ盛ンニ製造セラレテ居ル現状カラ、或者ハ戰爭ハ悲惨ナ結果
ヲ招來スル假へ戰勝シテモ然リダト云ヒ何レカ不明デアルガ、戰
争ハ時ノ勢テ何時勃發スルカ知レナイ

然ラバ何故ニ現在盛ンニ戰爭問題ガ議論サレテ居ルカト云ウニ昨
和十年ニ軍縮會議カアル迄ニ、ロンドン會議ニ許サレテイル最高
限度マデ備へテ置カナケレバ新比率決定ニ不利デアアルト若シ纏
ラナイ場合ニ武力的壓力ヲ必要トスル等々ノ理由カラ國防ノ任ニ
アル人々ガ國民ヲ激勵シテ居ル爲デアルト思ハレルガ我々ハ眞實
ヲ確カメズシテ附和雷動ハ慎マナケレバナラヌ我々勞働者ハ勞働
階級トシテノ立場カラ考慮スルコトガ肝要デアアル。